

# 平成24年度 事務事業マネジメントシート

事業名	日本赤十字活動促進事業			会計	款	項目	大	小
政策	04	4節 誰もが充実した生涯をおくることのできる流山（市民福祉の充実）	主管課	社会福祉課				
施策	4-5	地域で支える福祉のまちづくり	主管課長	村越 友直				

## I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	市民及び災害等困窮者	意図	人道的任務達成を目的に活動する、赤十字の活動を周知し、その活動を支援することにより、以って世界の平和と人類の福祉に貢献する
事業内容	赤十字の博愛人道精神に基づき活動している、赤十字奉仕団の活動が主なものである ・赤十字が行う献血事業への協力 ・赤十字社の活動資金となる社資（寄付金）の募集運動への協力 ・救急法スクールの開催、炊き出し講習会の開催、一日赤十字の開催、防災訓練への協力、市民まつりへの参加等			
事業開始から現在までの状況変化	・赤十字に対するニーズの増加に伴い、高齢者支援や救急法講習会などの事業の充実を図っている。 ・団員の増員が進まず、団員の高齢化により活動が負担になってきている。 ・景気低迷の影響により、社資（寄付金）募集に苦慮している。			

## II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成22年度	平成23年度	平成24年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
		①	赤十字奉仕団団員数（ボランティア）	52			
②	社資（寄付金）	9,450	9,577	9,548	千円	↑↑↑	
③	炊き出し用大釜	4	5	5	基	→→	
④							
指標で表すことができない定性的な成果							目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） ・事業が増加する中、新規入団者も少なく、団員の高齢化も進み、活動での負担が増加している ・団員は、全員女性であるが、力を要する事業もあり、男性団員の入団が望まれる ・人口は増加しているが、社資（寄付金）は横ばいである
事務事業のコスト		平成22年度	平成23年度	平成24年度			
事務事業の総コスト(a=b+c)				7,726,000			
事業費(b)(円)							
うち一般財源							
職員給与費(c)(円)				7,726,000			
人役・職員(人)				1.00			
人役・再任用(人)							
人役・臨職(人)				0.50			
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

## III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

### (1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	B 市が担うとともに、市民協働を進めるべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

### (2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H24)の改善計画	社資（寄付金）募集を行うためには、人手を要するため、新規団員募集行う	③取り組みの課題	平成25年度には、団員募集を実施する
②今年度(H24)に実施した取り組み	団員募集が実施できなかった	④今後の改善計画	団員募集のため、実施日時、場所、広報掲載など募集方法を早めに検討する